

**ヌマチチブ** (ハゼ科)

**学名：** *Tridentiger brevispinis*

**別名：**ゴロ, ダボハゼ, ハゼ

**大きさ：**全長 10 cm

**特徴：**体は円筒形でずんぐりしており、体色は暗色。頭部の側面から腹面にかけて白い斑点がまばらに散在する。第1背びれの基底から鰭の半分くらいにかけて褐色の縞模様がある(写真1)。第1背びれの鰭条はオス成魚のみ伸びる(写真1)。同属のチチブ(*T. obscurus*)によく似ているが、第1背びれの縞模様がチチブでは基底や鰭前方付近に限られることや、体長約40 mmに達したチチブの第1背びれの鰭条は長く伸びること、頭部の白色斑点が密に散在すること(ヌマチチブはまばら)などで区別できる。ただし頭部の斑点の性状での区別はやや難しく、それ以外の特徴もみて判断するのが無難。上の写真はヌマチチブのメス。

**国内の分布：**北海道から九州

**県内の分布：**霞ヶ浦水系, 利根川水系, 那珂川水系, 久慈川水系, 県北地域の各河川など。霞ヶ浦・北浦に分布するのは本種で、チチブは分布していない。



写真 1:ヌマチチブの幼魚(上)と成長したオス(下)。オスの第1背びれの鰭条は伸びる。

**県内での生態：**霞ヶ浦や北浦では、湖岸から沖まで、湖全域に広く分布する。流入河川では下流域に多い。産卵期は5~8月で、石の裏などに産卵する。オスは卵を保護する。最も小さい成熟サイズはメスで約35 mm, オスで約40 mm。ふ化した仔魚は浮遊生活を送った後に底生生活に移行する。

イサザアミや動物プランクトン、ユスリカ幼虫などを食べる。

**備考：**霞ヶ浦・北浦では曳き網や張り網で漁獲され、佃煮に加工されている。霞ヶ浦のハゼのなかで最も漁獲量が多く、“ゴロ佃煮”のほとんどは本種が加工されたもの。その味も美味で、評価は高い。

茨城県のヌマチチブには、あるエピソードがある。それはハゼの研究で有名な現天皇陛下とのエピソードである。当時の試験場職員から聞き取った話を紹介しよう。

天皇陛下は皇太子時代の1985年（昭和60年）茨城県に来県、滞在先のホテルで試験場職員が霞ヶ浦の魚について説明する機会があった。その際、職員が霞ヶ浦の代表的なハゼ科魚類（アシシロハゼとチチブ属魚類、ヨシノボリ属魚類、ウキゴリだったらしい）を生かして持参したところ、そのなかのチチブ属魚類をみて陛下は「ヌマチチブですね」と種名を同定されたという。

翌年の1986年には内水面水産試験場に行啓されたが、そのときも霞ヶ浦で採捕したチチブ属魚類を見ていただいた。その後、霞ヶ浦・北浦や利根川、涸沼川、大北川、十王川といった県内各所で採集したチチブ属魚類を含むハゼ科魚類を東宮御所にお届けした。そしてさらに、届けたチチブ属魚類は全てヌマチチブだったらしく、チチブを探すために当時の侍従が来県、職員とともに涸沼でチチブ探しを行ったこともあったという。そういった調査の蓄積の結果、霞ヶ浦・北浦にはヌマチチブが分布していること、涸沼にはチチブとヌマチチブの両種が分布していることが明らかになった。この研究に関して明仁親王（1987）では、

霞ヶ浦と北浦、そして涸沼のヌマチチブについてこう記されている。『霞ヶ浦・北浦に分布しているのはヌマチチブのみである。涸沼にはヌマチチブとチチブが分布しているが、もともとはヌマチチブのみが分布しており、後からチチブが分布するようになったと思われる。おそらく地史的関係からこの地域にはチチブは生息していなかったのだろう』（概略を執筆者が集約）。

実はそれまで、霞ヶ浦・北浦のチチブ属魚類はチチブとして扱われていた。しかし、陛下の種同定でヌマチチブであることが判明し、それ以降の霞ヶ浦・北浦のハゼ資源研究は分類学的な拠り所をもって進むようになった。

県内各地に分布し、ダボハゼとさえ呼ばれて蔑まされてしまうヌマチチブ。皆さんの見る目は変わっただろうか。

#### 主な文献：

- 明仁親王（1987）チチブ類．日本の淡水魚－その分布，変異，種分化をめぐる（水野信彦・後藤 晃編）．東海大学出版会．pp. 167-178.
- Kaneko, T. and I. Hanyu (1985) Annual reproductive cycle of the Chichibu-goby, *Tridentiger obscurus*. Bull. Japan. Soc. Sci. Fish., 51: 1645-1650.
- 小沼洋司（1983）霞ヶ浦と北浦における湖岸帯の魚類相とハゼ類の分布域・漁獲量．茨城内水試調査研究報告, 20: 15-23.
- 小沼洋司（1985）霞ヶ浦・北浦の湖沖帯に現れる稚仔とその摂餌について．茨城内水試調査研究報告, 22: 1-30.
- 鈴木健二（1980）霞ヶ浦における漁業資源の生産構造に関する研究－II ハゼ類の食性について．茨城内水試調査研究報告, 17: 27-32.